

## 倉敷市PTA連合会・南ブロック

11月7日（火）、東陽中学校にて、令和5年度第3回南ブロック協議会会長会を行いました。今回は「ランチミーティング」ということで、給食を食べながらの会長会でした。栄養士の先生から自校給食の良さ、学校での取り組みの話をお聞きした後、それぞれがエプロン・三角巾・マスクを着用して、いざ配膳！！



取りに行きます



自分たちで配膳！！

### 【献立】

ごはん  
鮭ときのこのあんかけ  
小松菜の大豆あえ  
根菜のみそ汁  
牛乳



できあがり！！



自分たちが子どもの頃の給食話をしながら、温かくて美味しい給食をいただきました。和やかな雰囲気の中、各校園の近況報告をや意見交換。「他の学校園の話が聞ける」「参考にできる」「こういう場は必要だと思う」など、南ブロックとして会長会を行う意義を再認識しました。



食べながら情報交換

# 令和5年度 南ブロック活動

## 第1回研修会・情報交換会

日時：令和5年11月17日（金） 14:00～16:00

場所：ゆるびの舎（2階研修室）

講師：渡邊 恵美加 先生（日本筆跡セラピスト協会 認定講師）

内容：筆跡について体験や実例を見ながら知り、子どものSOSをノートから知る方法や、子どもの個性に合わせた対応について学ぶ

### 子どもの筆跡心理学は…

理想の文字に近づけようと子どもをコントロールするのではなく、子どもの個性・特性を知ることにより良い親子関係を築いてもらうことを目的としている。



大切

### 良い感情を生み出すには…

1. ありがとうは自己重要感を高める
2. なんとかなると物事を楽観視する
3. 他人の目を気にしない・人と比べない
4. チャレンジする気持ちをもち、自分のやりたいことに取り組む

### POINT!!

- 大人も子どもも日々の出来事・気分で文字が変わる
- 子どもは「お母さん」の生き方を参考にしている（お父さんお母さんの幸せも意識して！）
- 「親は子どもに何を~~してあげない~~といけないか」ではなく、「子どもは今、親に何を求めているか」に敏感になる。

同じ字でも子どもの心理状況によって書く字が変わるということに驚きました。子どもはいつも通りにしていても、字に変化があったら何かのサインだと思って、子どもとのコミュニケーションを大切にしていくことの重要性を教えていただきました。子どもからの発信が少しでも受け取れるように、日頃から関りを多くもちたいと改めて思った研修会でした。

